

事業所名

タイムこどもデイサービスゆっく

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

17日

法人（事業所）理念		社会福祉法人たいむ共生会は、ハンディキャップに「ハロー」と言えるように、障がいを持つことが辛いことばかりではなくたくさんの喜びや多くの学びがあることを知り、障がいがあることで社会的な不利益を受けない『ノーマライゼーションの精神』が生きている地域社会づくりをめざしています。障がいがあっても地域の中で当たり前暮らし、働き、余暇を楽しむことのできる社会とは、子どもも女性も高齢者もすべての人が自分らしく人間らしく、安心して生活することのできる『共生社会』であるはずで、そんな社会を創っていきたく思います。					
支援方針		障害児が「自立＝自らの人生の主人公として生きていける人になる」ことを最終目的としながら、まずは当該事業所が「居場所」になり、友達・支援員との「かかわり合い」を通し育ち合い、「心身の成長、自主性・社会性の醸成」ができるよう、5領域「健康・生活」「感覚・運動」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいた支援・活動を行います。					
営業時間		14時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活リズムの安定を図ります。体温測定、お迎え時に学校の先生や保護者から体調や様子を聞く、連絡帳で保護者からのコメントの確認をします。衣服の着脱、食具の使い方など、スモールステップで習得できるように支援します。絵や文字のスケジュール表を使って予定をわかりやすく伝えます。					
	運動・感覚	姿勢保持や上肢、下肢の運動をして 体の動きをスムーズにします。音楽に合わせて体を動かしたり、体の部位を言いながら触れることにより自分の体を意識するようにします。お散歩をしながら歩行の練習、自然に触れることにより、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動を促します。おもちゃや道具を使い、眼と手、体を一緒に動かす練習をします。トランポリンを飛んで体幹を養います。お子さんが座った姿勢を維持しやすいように、お子さんに合わせた椅子や机を用意します。					
	認知・行動	始まりの会でその日の活動の流れや日付、天気などをみんなで確認します。積み木を使って、空間把握の認知形成につなげます。小グループでのゲームをすることにより適切な行動形成を養います。数量や数字の順番など、数に関することを段階的に学べるようにします。					
	言語 コミュニケーション	音楽遊びをすることにより、口の動き、声をだすこと等発語につなげます。お友達とのやりとりを音楽遊びの中で取り入れることにより、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援します。言葉を理解して日常生活で使えるジェスチャー種類を増やします。					
	人間関係 社会性	見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びをすることにより社会性を身につけられるように大人が間に入り代弁をしたりして支援します。一人遊びが好きなお子さんには少ずつお友達との遊びにつながるように声かけしていきます。ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りにいかない時に自分の気持ちを落ち着ける方法をお子さんと一緒に考えます。					
家族支援		子育てに関する困り事や進路への相談をいつでもできるように環境を整えます。			移行支援		お子さんが併用されている、幼稚園、保育園、デイサービスなどと情報共有して連携を図ります。
地域支援・地域連携		『僕らのアート展』を開き、地域の方にも利用者、スタッフが作った作品を展示しています。			職員の質の向上		月に1回行われている全体会議での話し合いや研修だけでなく、日常の職員でのミーティングなどで共有しさらにスキルアップできるような研修会を行います。安全衛生委員会、BCP、虐待防止委員会、身体拘束適性委員会、専門委員会での研修を職員に共有して知識や理解を深めていきます。
主な行事等		クリスマス会、初詣、豆まき、ハロウィン、夏祭り、七夕、水遊び、避難訓練地震、火災、水害を実践しています。					